

新戦力をプラスして 機械加工の総合メーカーへ

小出口ロール鐵工所



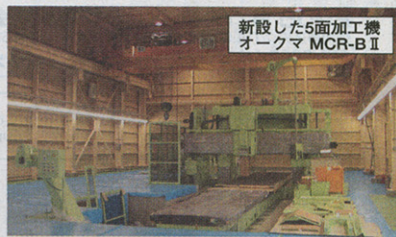
小出武夫社長

創業90年の老舗加工メーカーが、新たな事業革新に乗り出す。製鉄、製紙、電力関連向けのロール、シャフト製作加工を営む小出口ロール鐵工所（千葉県習志野市東習志野6-21-8、小出武夫社長、047-475-3811）だ。国内大手製鉄所のロール研磨需要の拡大と、海外向け発電設備まわりの受注拡大に対応、新工場を建設して5面NC加工機1台を増設する。同時に豊富な設備能力と高い品質・技術力を生かし、従来の丸モノ加工主体の事業構造を改め、角モノを含めた全方位の受注態勢を構築する。

優れたロール・シャフト加工技術 角モノ加工分野に本格進出

過去最高水準の高操業が、背景に、タービン・シャフト2台体制にする。9月本続く国内製鉄所。圧延工程トヤポンプ軸など、重電各格稼働させる予定だ。約2などで用いるロール再研磨社の部品加工ニーズも増加000トンのコンクリートの需要増加に伴い、小出口ロールの受注量も拡大している。研磨機や旋盤だけでなく、ロール周りの機械加工「小出社長」と見られ、今後受注増に対応するにフル操業。さらに「世界は設備増強が不可欠と判断的な発電設備需要の増加をした。

このほど既存工場隣接地に新工場（写真）を完成、5面加工機1台を新設するとともに、同型式の既存加工機1台を新工場に移設し、今回の設備増強は、「新生」革に次ぐ、第2の事業革新と言えらる。「当社はロールの周辺加工という位置付



新設した5面加工機
オークマ MCR-B II

研磨に関しては日本一。ただロールだけでは食べていけないと考えた。当時、重電メーカー各社へ積極的な営業を仕掛けた小出社長は、当時の厳しい状況を振り返る。5面加工機の増強により、電力用シャフト分野の取り込みを一段と強化できるほか、その発展系として「これまでにない新たな顧客層の開拓につながる。具体的には、丸モノにとらわれない角モノ加工への

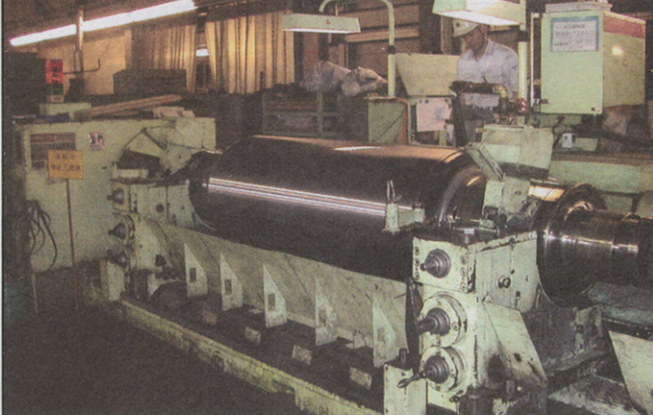
長年の製鉄、製紙向けロール研磨から電力用シャフト分野に進出した事業構造改らわれない角モノ加工への

創業90年の加工ノウハウと 若い技術者のパワー

02年5月に取得した「ISO 9001」に基づく品質管理体制を整え、平均年齢33歳の若さもある。「今回の工場建設に際し、設計段階から20歳台のオペレーターやプログラマーを積極的に参加させたことで、社内士気も向上した」（小出専務）。若い技術者のパワーと長年の加工ノウハウを存分に生かし、今後の事業成長を確実なものにする。

新工場・5面加工機増設でさらに能力アップ!!

ロール&シャフト製作・加工



確かな技術で、確かな品質を、スピーディーにお届けいたします。



- ◎製鉄用ロール・製紙用ロール
 - ◎各種電機・産機用シャフト
- (研削盤15台、旋盤12台、5面加工機2台)



株式会社 小出口ロール鐵工所

http://www.koideroll.co.jp
E-mail:narashino@koideroll.co.jp

習志野工場 〒275-0001 千葉県習志野市東習志野6-21-8
TEL:047-475-3811 FAX:047-475-2422
本社 〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋3-5-12
TEL:03-3625-4151 FAX:03-3625-4155